

## 知事と区市町村長との意見交換（青ヶ島村）

令和1年11月13日（水）

17時00分～17時20分

○**行政部長** それでは意見交換を早速ですが始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 御遠方からありがとうございます。菊池村長におかれましては、日頃より都政に関しての御協力、ありがとうございます。

この2020年大会が間もなくで、ラグビーワールドカップが終わって次が2020大会、そしてその後の東京がいつまでも持続可能で元気な東京であるということは、島の皆さんも元気であるということになるかと思います。

長期戦略を今描いておりますので、来年度の予算もそうでありますけれども、長期のビジョン等を伺えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは村長、よろしくお願いいたします。

○**青ヶ島村長** 早速始めさせていただきます。まずはちょっと島の今の状況なんかも入れて、ちょっと話していきたいと思います。

青ヶ島もだんだん交通の便もよくなりまして、また観光客も大分増えてきました。特に今年は光ファイバー関係なんかの仕事で業者の方々が多く、村は宿泊施設も少ないので、なかなか泊まる場所もなくてちょっと減り気味なんですけど、業者の方々が減れば、また観光客も当然増えていくと思います。

そうした中で、八丈島から70キロ離れた外海で、なかなか港湾整備って厳しいか、航空の面でもヘリコプターではなかなか厳しいということで、いろいろと島の人達も苦労されていますけども、そうした中でもこうしてこういう機会なんかも設けていただいて、やはり少しでも知事をはじめ幹部の皆さんに島の様子を理解していただければ、これからもどんどんよくなっていくと思いますので、一つよろしくお願ひしたいと思います。

さて今も話したように、まずは道路関係では村には一周道路、循環道路、236号線でしたか、それがありますけども、今村内集落から港に行くには二つのルートがありまして、1周ぐるっと周れるんですけども、今はちょうど海側が崩落して、ずっと復旧に向けてしているところですけども、これもまたまだまだ時間が掛かりそうで、そこは斜面も崖が多くて落石も多いという中で、その落石対応なんかもしながら進めていただいております。

また、今実際使っている火口の中のルートですか、ここは結構ちょっとなだらかな所もありまして、ここが中心になって今使っていますけども、こうした一周道路はやはり落石も多いということで、台風あるいは大雨の時に、ちょこちょこ台風の落石がある。

このあいだの台風でも少し落石がありまして、通行止めなんかにもしましたけれども、そうした対応も、港湾局もそうですが建設局も本当に一生懸命すぐ対応していただいて、すぐ早急に通るようになりました。また、その辺の整備も引き続きよろしくお願いいたします。

また港湾については、台風でちょっと被害もあって、それに対してもすぐ復旧していただいて、今の工事なんかも順調に進めている状況ですが、なんといっても今言ったように、大きい波が来る所なんで、今のうちの500トンの船ではなかなか着けづらいという面もありまして、あと何年か、今の計画がありますけども、その後の計画なんかも、今長期戦略とかそういう話もありましたが、その件も検討していただいて、島の人達に将来の夢を持たせるような絵を描いていただけるとありがたいんですが、その辺も少しよろしく願いいたします。

また、2年ぐらい前に今東側です、西側の突堤が少しえぐられて、これがまだ全然復旧していなく、その辺についてもいろいろと工事業者さんに聞くと大変みたいですけども、その辺もぜひ早く、それ以上に被害が受けないようによろしくお願ひしたいと思ひます。

最後に防災の面で少し。島は昔、江戸時代に、何回もしゃべりますけども、爆発があつて、そこから島民全員が八丈島から助け船が来て避難したという歴史もありますので、今言ったように港はちょうど集落から反対側、その崖を通らないとそっちへ行けない。また火口の中は噴火の恐れがあると通れないということで、なかなか今の港の方から避難するのは地震、あるいは噴火が近付いた時に厳しいんじゃないかというのが、今島の人達の一般の意見です。その昔、やはりその集落のすぐ近くから八丈の方に、一番その火口から遠い場所に、昔、生活道路がありまして、そこから避難したという話なんですけども、僕らが子供の時にそこがやはり防波堤とか接岸の港はなかったんですが、はしけ作業で、そこから生活物資をあげてたという歴史もあります。

一時、平成元年頃、避難訓練をやるとういうことで、そこにモノレールとかなんかそういうものを付けて避難訓練をしたこともありますけども、最近においては、数年前にもう少しそこを整備しようという話もして少し整備し始めたんですけども、ちょっと崖崩れも結構ひどくてなかなかお金が掛かるんで、ちょっと財政的に厳しいっていうことで、今、将来的に、いざという時のために、要するに人が歩いて避難できる、できれば軽トラ1台ぐらいが通れるような、人、年寄りとかそういう人達を、子供達を乗付けて避難できるような、そういうこともこれから考えていきたいと思ひます。その辺も含めてよろしくお願ひいたします。以上です。

**○知事** 島のこれまでの事情等もお話いただきました。島しょ地域の道路は、住民の生活を支えるだけでなく、災害時には避難経路ともなるということでの認識は共有しております。

引き続き都道の整備を推進をしまひりまして、また、村の事業に対しても支援を行つてまひります。

それから港の話でありますけども、これは後ほど。二人ともよく知つてらっしゃるのでいいかと思ひますが、気象海象条件はやはり厳しいですよ。そういう中において、一方で観光が伸びているということですが、やはり交通アクセスがないと折角の予約が入つても来ないとか、様々な物流面での困難さがあるということだと思ひます。青ヶ島港の岸壁等の整備に、着実に取り組んでまひりたいと存じます。

観光ですけれども、先日アレックス・カーさんという方に会いました。この方、とても有名で、観光に関しての非常にアイデアと実行力のある方で、青ヶ島に魅せられたようでございますので。

○青ヶ島村長 その日いなかったんですよ。

○知事 いなかったんですか。そうですか。というので、すごくよかったというふうに言っておられましたので、いろんなアドバイスも、また具体的なアドバイスもちょうだいできるかと思います。

やはり外国の方々等も、焼酎もそうですし、いろんな魅力を発信しないとなかなか分かりませんので、その辺のところは共に連携しながら進めていければと思っております。

宝島プロジェクトもございますので、よろしくをお願いします。

○青ヶ島村長 ありがとうございます。

○行政部長 村長、いかがでしょうか？

○青ヶ島村長 ちょうど私は出張がありまして交代になったんですけども、その地熱で蒸した、そういうのも体験してみたいということで、私がわざわざ芋を掘りに行きまして、ちゃんと私が育てた卵も渡してきました。大分喜んでたそうです。

でも、青ヶ島限定の60度の焼酎特区ですか。これは結構なんか皆さんから島の方へも電話があるみたいで、でもこれあの島では、外では売れないですよということで対応はしてるんですけども、あまり知事が力を入れ過ぎて、委員の先生方が値上げしろ、値上げしろってもう、一般の人が買えなくなるんじゃないかと思って、心配なんですよ。

もちろん生産者は、あれは結構手間が掛かるんですよ。

一番困っているのは、うちの息子が値上がりして客が減ったって言ってますからね、知事、余力入れないでくださいよ。すいません。

○行政部長 よろしいでしょうか。

○青ヶ島村長 はい。

○行政部長 では最後に知事から一言、お願いいたします。

○知事 そういう観光の専門家も惚れ込んだ青ヶ島でございますので、うまく適正な形で観光が進みますように、またこれからも連携してまいりましょう。以上です。

○青ヶ島村長 はい。

○知事 よろしくをお願いします。

○行政部長 では意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。